クリスチャン新聞
THE CHRISTIAN

1988年（昭和63年10月２日発行）（毎日曜日発行）

10.2

発行◎クリスチャン新聞 〒101 東京都千代田区神田駿河台２－１

発売いのちのことば社（大阪支局・大阪市北区梅田）昭和35年12月10日 第３種郵便物認可 通巻第 1075 号

□聖書信仰の確立
□宣教のビジョン
□健全な教会成長
□実際生活の指針

アフリカへ パンと愛を
日本国際飢餓対策機構
献金の振込は郵便振替 東京7-68590
（アフリカ指定とお書きください）

クリスチャン新聞 1部 160円
予約購読料（１部につき送料共）
６か月（3,840円） １か年（7,680円）
船便 アメリカ １か年（13,000円）
ブラジル １か年（13,000円）
韓国 １か年（13,000円）
振替口座東京５－101512番
クリスチャン新聞

いのり

神ご自身が私たちに主イエスを通して勝利を与えられた。このお方に永遠に栄えがあるように。
アーメン
スポルジョン

朝鮮耶蘇教長老会 神社参拝可決50周年を回顧

大韓イエス教長老会 罪責告白 偶像拒否の決意を声明

もう一つの韓国 悔い改めと祈禱の旅

参拝強要に公式謝罪 日本から初めて

日本に次いでアジアで二度目のオリンピックが開催されていることに、韓国と日本の教会にとっての痛みを覚えるもう一つの歴史的な年、今年の大韓イエス教長老会第三十七回総会で神社参拝を国家儀式として参同することを徴兵拒否の決意を含めた声明を表明した。日本でも、韓国教会に神社参拝を強要したこの出来事を覚え「悔い改めと祈禱のための証言集会」が十月十七日に開かれる。その集会の実行委員長、西川重則氏（靖国神社国営化に反対する福音主義者の集い代表）が、韓国での第三十八回総会および釜山での回顧礼拝など四回の集会で公式メッセージを伝えた。神社参拝強要問題に関する、日本の教会からの公式の悔い改めのメッセージを表明したのは初めてのことである。以下、西川氏のレポートを紹介する。

レポート・西川 重則

昨年の九月、初めて韓国を訪れ、多くのことを学んで帰ってきました。昨年は、日本基督改革派教会を代表して、同信の「大韓イエス教長老会第三十七回総会（蔚山＝ウルサン）に出席するのが直接の目的でした。

今年の九月八日から十五日にかけて、私は再び韓国を訪れました。「歓迎」の言葉に溢（あふ）れたオリンピック・ブーム一色のソウル、釜山、その他の場所を訪れました。オリンピックとは無関係の、もう一つの韓国をこの国で確認するためでした。

一九三八年九月九日から十日にかけての出来事を、ひとりの日本人キリスト者として、想起しつつ、悔い改めと祈禱の旅をするために、私は昨年から準備をしてきました。

韓国では九月五日から九日まで、昨年私が公式に問安を許された同じ教派による「総会」がソウルで開かれ、神社参拝が強制された九月十日の日付で「神社参拝可決第五十周年を想起して」特別の「声明書」を採択しました。また九月十三日の夕刻七時三十分から十時三十分近くまで熱気溢れる「回顧礼拝」が、釜山の三一教会で開催されました。八百人のキリスト者が、「声明書」の朗読に際し宣誓の挙手をもって、神社参拝拒否の姿勢を表しました。神の御前（みまえ）での厳粛な一瞬でした。

私は、今回は、十月十七日夕刻に行われる「悔い改めと祈禱のための証言集会」の代表としての立場から、その趣旨にそった「メッセージ」を作成して訪韓しましたので、九月九日の「総会」、その日（九月十一日）の礼拝（北ソウル教会）、その日の夜の礼拝（登村教会）、釜山での三一教会の集会のすべてにおいて、「公式メッセージ」を朗読する機会を与えられました。

すべてのプログラムが、神社参拝可決五十周年を想起し、その罪を繰り返さないことを決意する厳粛な確認・誓いを内容とするものでした。

私は、「同じえだ」が苦しみつつ、「神社参拝を率先励行」した多くの人々の前でのことであり、憂うべき日本の靖国状況を考え、複雑な思いに包まれました。

四回目に朗読させていただいた三一教会では、神社参拝を拒否し、獄中の体験をされることとなる、と信頼を頂け連備を進めてきた。

七月末、文部省に申請の書類を提出。一次申請が受理された。「私たちの学校ではなく、日本の福音派が勝ち取った勝利です」と声が弾む。

「私は十五歳から、十九歳まで大工さんの小僧をし、その中で本当に人間学を学びました」学究的な事には弱いが、アカデミックな先生たちとのバランスをとるように、ということかなと、吉持師は思わされている。人間の心を理解する、知的な面だけに走らない学校づくりをしたいと。多忙な責務の合間に木の根などを拾ってきては丹念に磨く。土にまみれたものが、それなりの趣をもって輝く。そこに自分の姿を見る。〝ゼロの原点〟という言葉が好きだという。自分がどこから見いだされたのか、確認しながら恵みの中で奉仕をしたいと。「原点に立つと新たな情熱がわいてくるんです」（風）

東京キリスト教学園新理事長
吉持 章師

ひと

ゼロの原点に立ちビジョン遂行

昨年の十一月、故安藤仲市師の後長として真念する。

吉持章師（三）は、三十六歳の時に、ダン・ホーク師から学園の理事に加わるよう、声を掛けられた。私には何の資格もない、と言うと「資格にはいろんな資格がある。学究的なものだけが資格ではない」と諭された。

ダン、安藤師の世界宣教へのビジョンを思う時、これらのことを達成する決め手となるものは、神学校教育だと。「牧会をしながら、だんだん深入りして手が離せなくなって…」と笑う。

先駆者の残してくれた豊かな遺産、有能なスタッフを与えられているのに、神学大学の設置に挑戦しないことは、キリストの責任を回避すること

靖国問題連絡会には、単立連盟、バプテスト教会連合、リーベンゼラ、基督長老、福音長老、改革派、同盟基督、新約教団などの各教派が加わっている。

落穂抄

「六歳の時、初めて教会へ行きました。小羊を抱いた優しい目をした人の絵を見て、あれは〝だれ〟と聞きました。それはイエス様の絵でした。私は〝私もあのように抱いてもらえるの？〟と聞きました」オハイオ州クリーブランドの貧民街で育った子にとって初めての教会での体験は大きかった。病弱で食べ物にもこと欠く母子家庭―そんな環境の中からアメリカ社会を代表する陸上ランナーが生まれた◆マデリン・マニングさん、メキシコ、ミュンヘン、モントリオールで金メダルを獲得した女子代表選手だった〝世界最速のランナー〟に三年続けて輝いたこともある。どの競技でも聖書の励ましを受けて走ってきた。スタート前、極度の緊張の中でも平安を与えられ勝利することも度々あった。しかしその中で〝何のために走るのか？〟と根本的に問われる時が来た◆一九七五年二年間の選手生活ブランクから再び、フィールドに戻ってきた。

〝走る〟ことによって、一人でも多くの魂が主を知るように〟との祈りと使命をもってのカムバックだった〝この年のソビエト遠征での祈りが実現したのです。大会新記録で優勝すると、ソビエトのテレビのアナウンサーが、〝あなたはどういう使命をおびて走っているのか〟と聞くのです。私はイエスこそ私がここにいる意味のすべてですと答えました。それはどういう意味ですかと問いかけるアナウンサーに、さらに自らの信仰の証しを語った。その模様はテレビで全ソビエトに流れた◆ソウルオリンピックに参加したマニングさんは、もちろん選手としてではない。オリンピック村チャプレンの肩書で、自由に選手たちを励まし、相談を受け祈った。そこにはスポーツという〝世界言語〟で様々な壁を乗り越えて福音を伝える神の大使の姿を見た。かつて世界を代表する金メダリストが、やがて過ぎ去って行く栄誉でなく、信仰による永遠に続く真の金メダルを証しできる喜び―マニングさんは、それを〝一人でも多くの魂に分かち合いたい〟と語った。

大韓イエス教長老会 罪責告白 偶像拒否の決意を声明

日本でも祈り合わす 「自己保身から救って下さい」

九月十二日夜七時から、日本・韓国の教会にとって忘れることのできない「神社参拝強制可決・朝鮮耶蘇（イエス）教長老会第二十七回総会」事件五十年をおぼえその祈祷会が、東京の同盟基督・中野教会であった。

「二十七回総会」事件とは、一九三八年九月九、十日、日本による統治下、最後まで神社参拝を否定していた長老教会の総会にあたり、日本官憲が、議場を威嚇（いかく）する中で、「神社は宗教に非ず、かつ、キリスト教の教理に反かざる本義を理解し、神社参拝は愛国的国家儀式なることを自覚す――」との神社参拝に賛同する旨の声明を可決させた事件。この総会に先立ち、当時日本の最大教派、日本基督教会大会議長・富田満牧師が神社参拝可決を説得した。

中野教会での祈祷会は、十三日に韓国・釜山の三一教会で行われた回顧礼拝と祈りを合わせようと開かれたもの。

祈りの前に、日本のクリスチャンとしての姿を確認する時を持った。そのため、訪韓中の西川重則氏による解説の文書を朗読。「自分の教派とは関係ない」「当時、生まれていなかった」と言っても、ダニエルが同胞の罪を民族的な罪としてとらえ、自身もその一人として神の前に罪責の告白をした姿に学ぶ時、また詩篇一九・121～131の「故意の罪・避けられぬ罪」についての記述を読む時、「一つのえだ」として苦難を共にすべき韓国の教会への私たちの罪は否定すべくもない。「断食をなし、荒布を着、灰をかぶって祈り求め」よう――と、日本の教会、クリスチャンの立場を認識した。

その後、出席した十数人が次々と立ち上がって祈った。

「問題を受け止めさせて下さい」「どう悔い改めたらいいか――引き出して下さい」「隣人を切り捨てての自己保身から救って下さい」「自己正当化的な聖書の読み方をしないよう」「埋めるもののない〝空白〟を持つ同胞に正しい神の知識を伝えられるようにして下さい」などと、祷告がささげられた。

17日に東京で 悔い改め・証言集会 賛同者募集中

大韓イエス教長老会第三十八回総会では、五十年前に神社参拝に賛同する決議がなされたことを悔い改め、偶像崇拝行為を繰り返すことのないよう韓国教会と政府に促すこと、またこの歴史的事実を後代に伝え永遠に記憶していくことを確認する声明が出された。

日本でも、痛ましいこの事実に学び、神のみ前に悔い改めるとともに、靖国問題連絡会（中台孝雄代表）は、「天皇重体」が一斉に報道される事態に対応して「天皇の重体を迎えての緊急集会」を企画、関係の教団・教会を通じて緊急連絡で参加を呼びかけた。

現行憲法で初の出来事となる「皇位継承（いわゆる大嘗祭）」をめぐって、政府はその対応に万全を期しているが、様々な動きが出ているが、キリスト教会・キリスト者の対応には戸惑いや疑問、自信のなさが見られる。天皇制と政教分離の問題が真正面から問われる戦後最大の出来事に直面している今、問題をしっかり見すえようと企画したもので、九月二十六日夜七時から東京・お茶の水学生キリスト教会館で集会。旗田雄二師（牧基派・新堀兼孝教会牧師）が礼拝、西川重則氏（政教分離の会・事務局長）が緊急状況についての報告と学びを担当。

日本福音同盟も緊急援助へ

日本福音同盟（JEA）救済委員会（依田次雄委員長）は、史上最悪の洪水で大規模な被災が出ているバングラデシュに対し、救済基金から二百万円の援助を緊急に送ることを決めた。同委員会は既に九月を「救済月間」としてアフリカ・ブルキナファソの井戸掘りプロジェクト支援のため、加盟各教団・教会に協力を訴えていたが、更にバングラデシュ救援を緊急課題に加えて再度呼びかけることにしている。

バングラデシュの洪水被害は最悪といわれた昨年を上回り、国土の四分の三が水に浸かり交通が分断。死者の数は八百とも千数百とも伝えられるなど、全容が計りきれない状況となっている。そうした中で、現地で活動するキリスト教救援団体の懸命の活動が伝えられていたが、JEAにはバングラデシュ福音同盟のお救済援助機関コイノニアからと救援を訴える手紙・電報が届いた。

それによると、コイノニアはダッカを中心に共同救援活動の中枢的役割を担い、食糧や医薬品の供給などを行っている。同機関の事務所は主食のチャパティ作りなどのためフル稼働状態で、スタッフや教会のボランティアは二十四時間体制で、屋根の上で孤立した人々にボートで食糧を配るなど、救援活動にあたっている。

コイノニアには国内各地の教会から、家屋復旧のための木材や竹材の要請も来ている。各国からの救援金は各地の教会に分配し、こうした復旧活動や食糧・医薬品などの供給活動に当てる。

コイノニアのロブ・ベリンガム総裁は「現在の私たちのこの苦しみは、必ずや将来神の栄光に結び付くものと信じます」として、祈って助けて欲しいと訴えている。

JEA救済委員会では、昨年同様、両国の福音同盟が加盟しているアジア福音同盟（EFA）を通じて救援金を送ることにしている。

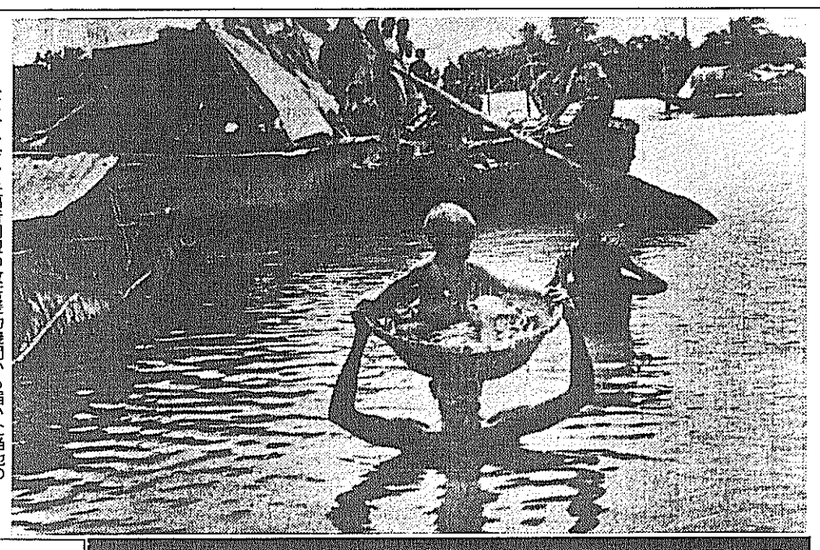
【救援金の送り先】郵便振替＝東京５・68442番、JEA日本福音同盟「バングラ」係。

●来週10月9日号は休刊させていただきます。次回は10月16日号となります

主な記事から

新TV伝道放映開始（５面）
福音派の四年制神大実現へ（６面）
初のジャパゆきさんに伝道（11面）

日本福音同盟 バングラ洪水 現地教会 懸命の救援活動



バングラデシュ福音同盟の救済援助機関から届いた当地の英字紙「オブザーバー」の、被災状況を伝える写真

応募締め切り迫る！〈10月末〉

第11回 あかし文学賞

主催・クリスチャン新聞

応募作品はクリスチャン（国外を含む）による未発表原稿に限ります。①ワープロ原稿も可。内容は自己の信仰体験、第三者の証し、歴史的事実を題材にしたものなど自由です。形式はフィクション（小説形式）、ノンフィクション（実録、ルポ、紀行文など）いずれも受け付けます。

□選考基準 ①人間への深い洞察をふくみ、執筆の目的がキリストを証しするものであること。②日本語の散文として質の高いもの。

□字数 本文は四百字詰原稿用紙で五十枚以内。住所、氏名、年齢、電話番号、所属教会名を明記し、簡単な略歴をそえて下さい。また応募作品は返却しかねますので、コピーしたうえでご応募願います。なお、受賞作品の著作権はクリスチャン新聞に帰属します。

□締め切り 一九八八年十月末日。発表は十二月の本紙紙上で。

□送り先 〒101東京都千代田区神田駿河台二ノ一 OSCCビル・クリスチャン新聞「あかし文学賞」係。

□賞および賞金 ◎優秀賞＝大型記念聖書および副賞三十万円贈呈。（優秀賞に準ずる作品の場合、準入賞とします）◎佳作（数編）＝大型記念聖書および副賞各五万円贈呈。

健康福寿源 無口臭 梅肉エキス配合
にがにがくち 噛む力がられたニンニクの効用＋豆知識
①血栓による心筋梗塞を予防する。
②血液中のコレステロールと中性脂肪の量を下げ、この作用により動脈硬化を防ぎます。
③血糖値を降下させ、糖尿病を予防する。
④血小板凝集を抑制する。
⑤強力な殺菌作用抗菌作用がある。
⑥ビタミンの安定化作用と吸収促進作用がある。
200粒入 ¥3,000
（東北大学農学部助教授 近藤嘉和 暮しと健康'87.5より引用）
1ヶ月に1本3箱一生にんにく1片＋生梅2個＋α
試供品ご請求は…… 代表取締役社長
自然化粧医学会 井上 浩郷
〒223 横浜市港北区日吉本町2152－5
☎044－61－0056（代表） 振替 横浜９－2914

在日韓国老人ホームを作るための募金にご協力下さい!!
お問い合わせは▶ ☎03-293-4554 ☎06-768-3095
在日韓国老人ホームを作る会
献金振込は郵便振替 東京2－190659

天皇重体で緊急集会

靖国問題連絡会（中台孝雄代表）は、「天皇重体」が一斉に報道される事態に対応して「天皇の重体を迎えての緊急集会」を企画、関係の教団・教会を通じて緊急連絡で参加を呼びかけた。

現行憲法で初の出来事となる「皇位継承（いわゆる大嘗祭）」をめぐって、政府はその対応に万全を期しているが、様々な動きが出ているが、キリスト教会・キリスト者の対応には戸惑いや疑問、自信のなさが見られる。天皇制と政教分離の問題が真正面から問われる戦後最大の出来事に直面している今、問題をしっかり見すえようと企画したもので、九月二十六日夜七時から東京・お茶の水学生キリスト教会館で集会。旗田雄二師（牧基派・新堀兼孝教会牧師）が礼拝、西川重則氏（政教分離の会・事務局長）が緊急状況についての報告と学びを担当。

新聖書講解シリーズ
・旧約〈全19巻〉
旧約がこんなにおもしろいとは…！
第6回配本 10月15日発売 各2000円〒250
1 創世記 坂野慧吉（浦和福音自由教会牧師）
7 列王記 舟喜 信（単立・浜田山キリスト教会牧師）
歴史書・詩・預言書など、文学形式が多様性にとんだ旧約聖書の、各書に隠された真理の宝をほりおこし、はっきりと見せてくれる、発見に満ちたシリーズ。
読者プレゼント実施中！ 各巻のカバーの内側についている上のマーク10枚を、住所・氏名・電話番号を明記の上、封書で、いのちのことば社出版部宛にお送り下さい。すてきなプレゼントを差し上げます。（期限＝1989年3月末日まで）

160 新宿区信濃町6 今月の新刊／いのちのことば社 ☎03(353)9345
ホーム・クリスマスはこの1冊があればOK
家族で祝うクリスマス 内田みずえ A4変・定価980円
10/20発売
クリスマス物語……おかあさんのあったかい声で読んであげてください。
世界のクリスマス……各国ではどんなふうにお祝いされているのかを紹介。
クリスマス豆知識……リース、ツリー、キャロリングなどにはどんな意味が。
名作にみるクリスマス……「若草物語」「アンネの日記」などの中のクリスマスを紹介。
アドベントのみことば……クリスマスをむかえるために心のそなえを。
やさしい工作……リース、クランツなど、子供と一緒に作れるクリスマスのかざりつけを紹介。
カードを作ろう……楽しいクリスマスカードの作り方を紹介。
お料理しましょ……子供もお手伝いできるやさしいクリスマスの料理、サラダ、デザート、クッキー、ケーキなどを紹介。
ホームクリスマス……家庭でのクリスマスの楽しいプログラムを紹介。
などなどもりだくさん。
新しい力を受ける12の秘訣 旧約新聖書の人物に学ぶ フラン・シアッカ

新しい力を受ける12の秘訣 フラン・シアッカ
多忙で、誘惑の多い現代にあって、疲労や孤独を覚えるとき、罪意識や敗北感の中におちこんだとき、どのように出口をみつければよいのか。聖書中の12の人物から問題を克服する方法を具体的に学んでゆく、画期的な聖書研究の本。グループ等の学びにも最適。
A5判 600円〒250
チャレンジ・ザ・教会成長 横山幹雄
●ここに可能性がある

「この地では二十名が限界だ」「地方では結構いい線いってるよ」…というまえに、成長のために教会の質的転換、発想の転換をするようにすすめる。三十名のやり方をすれば三十名で、八十名のやり方をすれば八十名で止まると語り、成長の方策を具体的に述べる。
B6判 300円〒250
質の高い礼拝を／信徒こそ教会成長の鍵／教会運営とリーダーシップ…